

# **UNITED SPORTS FOUNDATION**

Activities Report 2015 (April-December)

## 代表メッセージ

「一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION(ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション)」は、東日本大震災以降、さまざまな支援・貢献活動への関心が高まる中、スポーツを通じて社会貢献することを目的に、2011年9月20日に設立いたしました。

全ての人に勇気や感動を与えることができる「スポーツの持つ力」を再認識し、その魅力をより多くの人に伝えるべく、ご賛同いただいたアスリートの方々、地域、企業の皆さまのご協力のもと、スポーツに触れる機会創出を積極的におこない、人々の心身の健康に寄与することを目指します。

「One World. One Team.」を財団メッセージとし、グローバルな視点でこうした活動を継続的、発展的に運営することで、世界全体のスポーツ文化振興に尽力してまいります。

一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION

代表理事 諸橋 寛子



### 財団概要

#### 理念 USFを支える3つの柱

1. 社会文化振興に対する貢献 ————— スポーツを通して明るく楽しく健康的な社会の創造発展に貢献します
2. スポーツ文化振興に対する貢献 ————— スポーツの社会公共文化財としての価値を高めスポーツ文化の創造発展に貢献します
3. 将来を担う子どもたちに対する貢献 ————— スポーツを通して健全な心と体を持った子どもたちの育成に貢献します

#### 活動内容 3つの理念に基づいた社会貢献活動

- スポーツキャンプ、イベント、クリニックの開催によるスポーツ振興
- スポーツ技術、用品、資金の支援

#### Message from the Board Chairperson

Amid heightened interest towards providing support following the Great East Japan Earthquake, we established the UNITED SPORTS FOUNDATION on September 20th, 2011 to contribute to Japan's recovery through the medium of sports. We strive to help as many people as possible rediscover the "power of sports," the ability sports have to give people courage and inspiration. Receiving generous support from athlete endorsers, corporate partners and community supporters, we aim to contribute to development of the public's mental and physical health by progressively creating opportunities to engage in sports.

Under the motto "One World. One Team.," the UNITED SPORTS FOUNDATION continues to make constructive efforts at a global level to further develop the world's sports culture.

UNITED SPORTS FOUNDATION Board Chairperson  
Hiroko Morohashi

#### Mission The three principles of USF

1. Contributing to the promotion of social culture  
The USF contributes to the achievement of a fun, bright and healthy society through the encouragement of sports.
2. Contributing to the promotion of sports culture  
The USF contributes to enhancing the value of sports by promoting the sociocultural value of sports.
3. Contributing to the children of tomorrow  
The USF contributes to creating opportunities for children to enjoy sports while developing their mental and physical health.

#### Activities Contributions to society based on the USF mission

- Promoting the value of sports by holding sports camps, events and clinics.
- Providing goods, donations and sports skills.

## 活動総括 (2015年1月-12月)

財団設立から5年目を迎えることとなる2015年は、PR活動も担う大規模なイベントへの参加は縮小し、自主事業に注力して活動してまいりました。USFにしかできないことを吟味し、参加者への影響力や関わり合いの深さを重視した企画を実施いたしました。

なかでも2012年度より活動の柱としてきた「USF Sports Camp」は、回を重ねるごとに新しい試みを取り入れながら改善を加え、今年から文部科学省の後援事業として承認をいただきました。実施回数も年間5回に増え、エリアも福島県（2回）、東京都、滋賀県、徳島県と、拡大することができました。

この他にも、これまでの活動を踏襲しながらも、コンテンツの向上、運営の効率性を図り、着実に実績を重ねることができたと同時に、新しい企業との取り組み、アスリートとの接点も増え、ユニークでバラエティーに富んだ活動に繋げることができました。

USFの活動にご支援、ご協力いただきました企業、団体、地域、アスリート、ボランティアの皆さんに、心より感謝申し上げます。



## Contents

代表メッセージ、財団概要	1
活動総括	2

### 自主事業(主催・共催)

企画から運営まで、独自におこなう自主活動を少しずつ広げています。

USFスポーツキャンプ	3
USFスポーツフェスティバル／ Nā Kama Kai	5
スマイルスケート体験会／ USFスポーツキャラバン／ all in for dream ～子どもに夢を～	6
エキサイティング ベースボールツアー／ USF野球教室	7
アジアリーグアイスホッケー観戦／ キッズプロジェクト	8

### スポーツ活動・スポーツチーム支援

スポーツ振興プログラムやスポーツチームの社会貢献活動に協力しています。

バスケキッズフェスティバル／ The First Tee	9
USFバレーボール教室／ USF スポーツ！運動！体験会／ ヴェルレンジャー	10

### インターンシップ

大学と連携し、スポーツイベント運営のインターンシップを実施しています。

USF sports camp in 滋賀2015 Autumn／ 徳島インディゴソックス ファン感謝祭	11
---	----

### BOKSプログラム普及活動

アメリカ生まれの知育運動プログラムの普及推進をおこなっています。

BOKSプログラム	12
-----------	----

### スポーツイベント等への助成・協力

スポーツ振興、人材育成、地域活性などを目的とする活動に協力しています。

2015年実績	13
関係者の声	14
事務局トピックス	15
財団基本データ	16
ご支援・ご協力のお願い／賛同企業	17
賛同アスリート	18

# 活動実績

## ○自主事業(主催・共催)

USFではスポーツ人口の裾野を広げるべく、初心者対象のスポーツクリニックや複数のスポーツを体験できる企画の実施に力を入れています。プロチームの試合観戦など、トップアスリートのプレイを実際に観ることも大切だと考え、スポーツツアーも実施しています。

### USF スポーツキャンプ

トップアスリートの直接指導により様々なスポーツを体験することで、競技の多様性に触れ、自分自身の能力や関心を見出す機会提供を目的とした宿泊型スポーツキャンプ。2015年は2泊3日、3泊4日のプログラムで5回実施しました。

子どもたちはスポーツを通じて仲間たちと力を合わせる一体感や感動、チャレンジすることや上達することの喜びなどを経験することで、協調性を育み、自主的に考え実行することの大切さを学びます。また、初対面の子ども間、世代や国籍の違うスタッフとの交流を図ることで、ソーシャルスキルを高め、グローバルな視点を養います。

### 〈スポーツクリニック〉

- サッカー ●バスケットボール ●バレー・ボール ●野球
- バドミントン ●卓球 ●ラグビー ●セパタクロー
- クリケット ●スケート

運動能力に深くかかわる神経系の発達が著しく、精神面でも自我が形成され成長が顕著なゴールデンエイジ(9~12歳)を対象とし、基本的な動作を身に付けさせるほか、アスリートの迫力あるデモンストレーションを間近に見せることで視覚的、感情的側面からの刺激も与えます。

また、発育期に競技を絞ると動作が固定されたり使用する筋肉が限られたりするため、総合的な能力向上には複数スポーツの実践を推奨する研究も発表されています。USFではメジャースポーツだけでなく、普段は触れることがないようなスポーツを取り入れ、毎回異なったスポーツ体験を提供しています。

### 講 師

- ・永島昭浩／小倉隆史／平瀬智行(元サッカー日本代表)
- ・池上正(京都サンガF.C.育成・普及部長)
- ・岩屋睦子(元バスケットボール日本代表)
- ・櫻井由香(元バレー・ボール日本代表)・大山未希(元バレー・ボール選手)
- ・中田良弘(元プロ野球選手)
- ・小椋久美子(元バドミントン日本代表)
- ・松下浩二(元卓球日本代表)
- ・川合レオ(元ラグビー日本代表)
- ・林雅典／高野征也／青木沙和(セパタクロー日本代表)
- ・矢野順也(元セパタクロー日本代表)
- ・上原良崇(クリケット日本代表)・宮地直樹(元クリケット日本代表)
- ・西田美和(プロスケーター)



## 〈アクティビティ〉

- チームビルディングゲーム
- パラシュート
- オリジナルユニフォーム作り
- 海外スポーツ講話
- 英語でエール作り
- キャンプファイヤー
- スポーツ大会

国籍や言語、世代性別が異なっても感動を分かち合い、楽しめるのがスポーツの素晴らしさでもあります。多国籍・異世代のスタッフが子ども達と一緒にスポーツやゲームにチャレンジするなかで、自然に語学に対するハードルを下げ、英語に親しませることも大きな目的としています。アクティビティのほとんどは、外国人スタッフによる英語で進行され、子ども達の積極性を引き出し、表現力の向上を促します。

### 【実施】

USF Sports Camp in 東京 2015 Spring (2015.03.24-27)  
USF Sports Camp in 福島 2015 Spring (2015.03.30-04.02)  
USF Sports Camp in 徳島 2015 Summer (2015.08.19-21)  
USF Sports Camp in 滋賀 2015 Autumn (2015.09.20-22)  
USF Sports Camp in 福島 2015 Autumn (2015.11.21-23)

### 【後援】

文部科学省

東京都（東京都実施時）、福島県、福島県教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会（福島県実施時）、徳島県教育委員会、海陽町（徳島県実施時）、滋賀県、滋賀県教育委員会、草津市、草津市教育委員会、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、立命館大学スポーツ健康科学部（滋賀県実施時）

### 【協力】

公益財団法人東日本復興支援財団

※USF Sports Camp in 福島 Spring / Autumn は、福島子どもプロジェクト「福島子ども未来塾」への参加事業です。

独立行政法人日本スポーツ振興センター

※ USF Sports Camp in 東京 Spring / in 徳島 Summer は、スポーツ振興くじの助成事業です。



## USF スポーツフェスティバル

スポーツクリニックとスポーツ観戦の両方を体験できる「USF スポーツフェスティバル」を世界のトッププレイヤーが集結する「ITTF（国際卓球連盟）女子ワールドカップ仙台」の開催にあわせて実施しました。

1分間ラリーのギネス記録保持者である伊藤卓将氏による卓球クリニック、仙台のプロサッカーチーム「ベガルタ仙台」でプレイ経験もある財前宣之氏、萩原達郎氏によるサッカークリニック、プロゴルファー鷺尾雅子氏、中村洋子氏によるゴルフクリニックを参加者全員が体験。ワールドカップ観戦では地元仙台出身の福原愛選手（日本）vs ソルヤ選手（ドイツ）の好カードを観戦することができ、手に汗握る展開と、緊張感あふれる会場の雰囲気を肌で感じながらの応援となりました。

さらに、コニカミノルタ社の画期的な技術である立体コピーシステムにより、自分の手形が立体的に印刷された「もこもこ手形」がプレゼントされ、不思議な手形コピーを手に初体験の技術に関心を寄せました。

2015.10.31 宮城

### 【協力】

コニカミノルタ株式会社

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社



## Nā Kama Kai

子どもたちに海の安全と環境保全の意識向上を伝える「Nā Kama Kai（ナカマカイ）」は、ハワイ生まれの海洋プログラム。国際スタンダップパドルレース「WATERMAN LEAGUE World Series VICTORIA CUP HAYAMA」にあわせて開催し、来日された Nā Kama Kai ハワイ代表のデュエイン・デソト氏、オーシャンアスリートの荒木汰久治氏からの海洋講座や、スタンダップパドル（SUP）、サーフィン、カヌーといったマリンスポーツ体験、水難事故対応策を学ぶ着衣泳などを実施しました。参加したマリンスポーツ初心者の子どもたちは、初めての挑戦に奮闘しながら海や自然への尊敬の念、感謝の気持ちを学びました。

また、「WATERMAN LEAGUE」に参加されていた世界ランキング上位のトップアスリートたちにも多数参加いただき、子どもたちにマリンスポーツを教えながら触れ合いの時間を楽しみました。

プログラムの最後には、美しく豊かな自然を守るために全員でビーチクリーンをおこない、捨てられたごみ収集だけでなく、打ち上げられた海草を砂浜に埋め地球に返しました。

2015.09.06 神奈川



## スマイルスケート体験会

もっと気軽にアイススポーツに親しめるよう、プラスチックアイス（プラスチック製のスケートリンク）を活用したスケート体験会を青森、岩手、福島の3ヶ所で実施しました。気温に左右されず屋外でもスケートが可能で、氷上で滑るのに比べ危険性も低いため未経験者でも気軽に参加できるうえに、スケート靴は氷上と同じものを使用するので、本格的な滑走を楽しめます。初めてスケート靴を身に付け、恐る恐るリンクに立った子どもたちも、あっという間に笑顔で滑れるようになりました。

少しでも多くの子どもたちが参加できるよう、地域のお祭りやショッピングセンターと連携することで、地域活性のコンцепツとしても好評をいただきました。

2015.09.12-13 福島、10.03-04 青森、10.10-12 岩手

## 【協力】

国際アイスホッケー連盟、日本アイスホッケー連盟



## USF スポーツキャラバン

全てのスポーツの基本動作となる「走る」ということを好きになれるよう、簡単に実践できるポイントを伝授するキャラバン活動を続けています。2014年のスタート時には「かけっこ教室」として展開した企画に「持久走教室」を加え、運動が苦手な子どもたちにも参加してもらえるよう、小学校を訪問して学年にあわせた指導をおこないました。

講師には箱根駅伝出場経験のある長距離のスペシャリスト西田隆維氏と、世界陸上競歩の元日本代表吉澤永一氏を迎え、基本のフォーム作りを行った後、かけっこが速くなったり、持久走のタイムが縮まったりする、ちょっとしたコツをゲーム形式で練習し、ひとりひとりが目標をもって努力することで達成感を得られる内容にしています。

2015.09.12 東京



## all in for the dream ~子どもに夢を~

子どもたちに夢や希望を持って努力することの大切さを伝えたいとの想いから、2012年より実施しているサッカーカリニック。これまで現役プロサッカー選手、元日本代表などがサッカーチームや学校を訪問し、デモンストレーションや技術指導などの交流をおこなってきました。今回は埼玉県のジュニアサッカースクールの練習に、フリースタイルフットボール界のパイオニアでリフティングギネス世界記録保持者でもあるWasse（ワッセ）氏がサプライズゲストとして登場。代名詞であるリフティングの披露に魅了されたサッカー少年たちに、ボールタッチの極意を指南したり、一緒にミニゲームに参加したりして親睦を深めたほか、一つのことを極めるために努力することの大切さを語ってくれました。

2015.08.06 埼玉



## エキサイティング ベースボールツアー

プロスポーツの試合観戦で会場の一体感や高揚感をあじわったり、トップアスリートのパフォーマンスに触れ夢や希望を抱くことでスポーツの魅力を再発見できるよう、プロ野球観戦と野球教室を組み合わせたスポーツツアーツアーツを実施しました。日頃から野球の練習に励む子どもたちを東京ドームでのジャイアンツ vs カープ戦に招待し、代表者が始球式やオンユアマークスに臨んだほか、全員でバックヤードツアーツアーツに参加し内海哲也選手との記念撮影も叶いました。試合中はプレゼントされたお揃いの T シャツとマフラータオルで一丸となって熱い声援をおくり、終了後には東北と首都圏から集まつたチームの交流会をおこない、ジャビットとビッキーも加わって楽しい時間を過ごしました。翌日は元プロ野球選手の笛篠賢治氏、橋本清氏、野々垣武志氏、古木克明氏といった豪華講師陣が揃う野球教室がおこなわれ、投打の基本や守備練習に取り組みました。子ども達は積極的に講師たちのアドバイスを求め、お互いに切磋琢磨しながら有意義な時間を過ごしました。

2015.08.08-09 東京

### 【協力】

株式会社エアワイーブ



## USF 野球教室

紫外線の影響から眼を守ることの大切さがクローズアップされるなか、アウトドアスポーツではスポーツサングラスの有効性が注目されていますが、ユーススポーツや部活動の現場ではまだまだその必要性が認識されていないのが現状です。紫外線だけでなく打球や埃からも子どもたちの眼を守る手段として、また眩しさを防ぎパフォーマンスを上げる手段として、スポーツアイウェアを広く知っていただくために、実際にサングラスを身につけての野球教室を企画しました。仙台出身で昨年までプロ野球でプレイされていた江尻慎太郎氏が地元中学校の部活動に特別コーチとして参加し、サングラスでのプレイを初体験した子どもたちからは「眩しさが気にならぬボールが良く見える」「フィット感があって動かない」などポジティブな使用感が聞けました。練習のあとは親子で参加したサングラス講座で眼がスポーツパフォーマンスに与える影響などを聴講。その後は全員で地元楽天ゴールデンイーグルスのゲーム観戦にエールを送り、まさに野球漬けの 1 日を過ごしました。

2015.09.19 宮城

### 【協力】

オークリージャパン株式会社



## アジアリーグアイスホッケー観戦

アイスホッケーチームの参加を広く募り、切磋琢磨し合いながらリーグ戦を競う「Smile & Dream Cup」の開催に毎年USFも協力をしています。

今年は、スペシャル企画として、優勝チームをアジアリーグアイスホッケーのゲームに招待しました。アイスホッケーの試合は限られた会場でしか観戦できないため、子どもたちがプロの試合を目にすることは貴重な機会となります。

「スマイル&ドリームカップ」が実施され優勝を勝ち取った縁の場所でもある新横浜スケートリンクでおこなわれた東北フリーブレイズvs日本製紙クレインズ戦はチームの代表によるフェイスオフでスタート。スピード感あふれる大迫力の展開で、プロのプレイに魅せられた子どもたちは応援にも熱が入りました。ゲーム終了後には、東北フリーブレイズの若林クリス監督と菊地秀治選手が激励に駆けつけてくれ、スポーツマンシップの大切さや練習中の心構えなどメッセージを送り、交流をはかりました。

2015.11.28 神奈川



## キッズプロジェクト

歌舞伎界の立女方であり、日本を代表する世界的アーティストでもある坂東玉三郎氏が初めて演出を手掛けたダンス公演「バラーレ」に、ダンスレッスンに勤しむ子どもたちを特別招待しました。出演するDAZZLE（ダズル）は、ストリートダンスとコンテンポラリーダンスを融合させたオリジナルスタイルを生み出すダンスカンパニー。その個性的で表情豊かなパフォーマンスが、ストラヴィンスキーやマーラーといったクラシックの名曲とシンクロし、美しく芸術性の高い舞台で観客を惹きつけました。

実際の舞台鑑賞は初めての経験という参加者がほとんどで、感受性豊かに多くのことを感じ取り、それぞれに刺激を受けたようでした。普段からダンスに親しんでいる子どもたちは、公演中は言葉も発せず真剣に魅入っていたものの、公演後はさっそく動きの真似をしたり、お互いの感想や感動の余韻を語り合いました。エネルギーの高い刺激を受け、向上心を高めるきっかけ作りの場を提供できました。

2015.03.07 東京

### 【協力】

株式会社エアウェイヴ



## ○スポーツ活動・スポーツチーム支援

スポーツ振興を目的として年間計画のもと継続的に実施されるプログラムや、スポーツチームが競技振興や地域交流を図るためにおこなう活動に対し、通年でのサポートをしています。活動理念の親和性や共感性のある活動には積極的に協力してまいります。

### バスケキッズフェスティバル

バスケットボールの楽しさを一人でも多くの子どもたちに伝えるため、全国47都道府県で普及と発展を推進する「バスケキッズフェスティバル」のオフィシャルパートナーを務めています。元日本代表選手を中心に第一線で活躍してきた選手たちが講師となる「クリニックフェスティバル」は、未経験者や初心者向けの1DAYクリニックが受けられるほか、保護者や指導者向けに正しいシューズの選び方講座や傷害予防のためのテーピング講座などが開かれます。また、より幅広い年齢層の子どもたちが楽しめるように企画された「オープンフェスティバル」では、申し込み不要の開かれた会場で、シートチャレンジ、バランスバスケット、ビッグバスケットなどのバスケットボールアクティビティーが多数用意されています。その他にもクイズラリーや足型測定などの体験コーナー、ワークショップなど、親子で楽しめるコンテンツが多彩です。バスケットをもっと身近に感じてもらえるよう進化し続けています。

2015.01.12 全国

#### 【協力】

公益財団法人日本バスケットボール協会、ゼビオグループ



### The First Tee

The First Tee(ザ・ファースト・ティ)は、子どもたちにゴルフを通じて人格形成と人生に充実感をもたらす多様な価値観を促進する学習施設と教育プログラムを提供し、「ライフスキル(生きていく上で必要な能力)」や人生の価値を教えることを目的とするプログラムです。1997年アメリカでのスタートしたこの活動は全世界200以上の支部、700以上の施設で累計1,000万人以上の子どもたちが参加しており、正直、誠実、スポーツマンシップ、尊敬、自信、責任、忍耐、礼儀、判断といったナイン・コア・バリュー(9つの価値)を教えることで子どもたちの健全な心身の成長に寄与しています。

USFではザ・ファースト・ティ・ジャパンと連携し、今後の拡大を図るためにプログラム認知のためのイベントや体験会を実施するほか、インストラクターの養成にも注力しています。

2015.01.12 福島、神奈川、静岡

#### 【協力】

特定非営利活動法人  
ザ・ファースト・ティ・オブ・ジャパン



## USFバレー ボール教室

V.チャレンジリーグで活躍するバレー ボールチーム「仙台ベルフィーユ」と連携して、小学生を対象に「USFバレー ボール教室」を開催しています。参加した子どもたちは、憧れの地元チームの監督や選手たちから直々に手ほどきを受けられる貴重な機会とあって、積極的に模範プレイを求めたり、質問したりしていました。それに応える選手たちも、それぞれの経験値にあわせて初心者には基本的な身体の使い方、上級者にはより高度なテクニックをアドバイスをし、お互いの交流を深めることができました。地域に根差したコミュニティー一体型のチーム運営を目指す「仙台ベルフィーユ」では、能動的に地域交流が図れる活動を続けており、USFでは持続的にサポートをしています。

2015.07.26、08.09 宮城

【協力】仙台ベルフィーユ



## USF スポーツ! 運動! 体験会

アジアリーグアイスホッケーに所属するアイスホッケーチーム「東北フリープレイズ」と連携し、社会貢献活動としておこなう保育園訪問とスケート教室を「USFスポーツ!運動!体験会!」と呼称し実施しています。保育園訪問では、USFが普及推進するBOKSプログラムを選手がインストラクターとなっておこなうほか、フロアボールにチャレンジします。身体の大きな選手たちに、子どもたちのテンションも最高値で歓声を上げながら触れ合いを楽しんでいます。

スケート教室では、初心者向けには基本的な姿勢の指導や全員で繋がってスケーティングするゲームなど、上級者やアイスホッケー経験者にはスピードの乗せ方や具体的なテクニック指導などをおこなっています。

2015.10.12 青森、福島

【協力】東北フリープレイズ



## ヴェルレンジャー

Jリーグに加盟するプロサッカークラブ「東京ヴェルディ」の地域活動パートナーとなり、「いっしょにスポーツ楽しみ隊!ヴェルレンジャー」の活動を支援しています。隊員(チームコーチなどの指導者)がホームタウンの小学校や幼稚園、保育園を訪れ、スポーツの楽しさや自分で考えて行動することの大切さを伝えるこの活動は地域交流の企画として実施。サッカーを中心に身体を動かしたり鍛えたりするメニューを子どもたちに指導ながら、ゲームメイクの作戦を立てたり、チームでアイデアを出し合ったりすることでコミュニケーション能力を引き出したり、思いやりの心を育むための手法も取り入れています。USFではサッカーの発展のために地域に愛されるチーム作りを目指す活動に賛同しています。

2015.01.12 東京

【協力】東京ヴェルディ



## ○インターンシップ

立命館大学スポーツ健康科学部との学術交流・協定を継続し、プロジェクト型インターンシップの実施をおこないました。参加した学生たちは、企画立案、運営、資金調達など、イベント実施に必要なすべての過程を経験しながら、スポーツマネジメントを学びました。

### USF Sports Camp in 滋賀 2015 Autumn

全体企画、予算計画、資金管理、自治体への協力依頼、参加者募集、メディア対応といった一連の過程から事業運営のノウハウを学べるようカリキュラムを組み、スポーツマネジメント、スポーツイベント運営に関心のある学生たちに参加いただきました。

当日実施するアクティビティの内容を納得がいくまで議論したり、スケジュール通りに進まず苦戦したりする中で、ひとつのイベントを成し遂げるまでに多くの人が関わり連携すること、責任を全うすることの大切さを学びとることができました。

参加人数は目標に達しなかったものの、全員が一丸となって3日間を取り仕切り、子どもたちの満足度も高い企画となりました。

2015.09.20-22

【協力】

立命館大学スポーツ健康科学部



### 徳島インディゴソックス ファン感謝祭

昨年度も連携してインターンシップの受入れをおこなった四国アイランドリーグplusの所属チーム「徳島インディゴソックス」との取り組みを継続し、今年は「徳島インディゴソックス」のファン感謝祭を学生がプロデュースする企画を実施しました。

参加した学生たちは企画、営業、広報の3チームに分かれ、それぞれに協力しあい、チームとの調整やスポンサー営業、メディア対応など必要な準備を進め、当日は120人以上のファンが来場し会場を盛り上げました。選手、監督、コーチとファンとが直接触れ合える場の提供のために、スポンサー獲得にも奔走し、収支もクリアすることができました。

たくさんの反省点はあったものの、学生たちにとって大きな自信となりました。

2015.10.18

【協力】

立命館大学スポーツ健康科学部、徳島インディゴソックス



## ○BOKSプログラム普及活動

子どもたちの運動を習慣づけるため、BOKSプログラムの普及促進活動をおこなっています。

アメリカのBOKSファウンデーションと連携して日本向けにプログラムのカスタマイズを進めたマニュアルを作成し、行政や教育機関などにも紹介しています。

### BOKSプログラム

“BOKSプログラム”は、幼稚園や学校の授業がはじめる前におこなうアメリカ生まれの知育運動プログラム。年齢や運動能力にかかわらず、楽しく運動できるというのが特徴です。

アメリカでは「ゼロ時間目のプログラム」として展開され、一定の効果をあげており、ハーバード大学のジョン・J・レイティ博士が推奨しています。

USFでは、各学校や団体が自主的継続的に“BOKSプログラム”を運用していくようインストラクターの派遣や体験会、研修会などのサポートを続けています。

### 幼稚園・保育園・小学校などの体験会の実施

子どもたち向けに体験会を実施し導入を検討いただくとともに、先生方への研修などをおこなっています。

### 各種イベントでのPR活動

イベント時のコンテンツとしてPR活動をさせていただき、保護者の方への理解促進を図っています。

【協力】リー・ボック・ジャパン



### 〈BOKSプログラムの効果〉

#### 運動不足解消と運動能力向上

適度に身体を動かすことによって運動不足が解消され、普段使わない筋肉を使うことにより強い筋肉や柔軟性といった体力、運動能力の向上が図れます。

#### 脳の働きの活性化と最適化

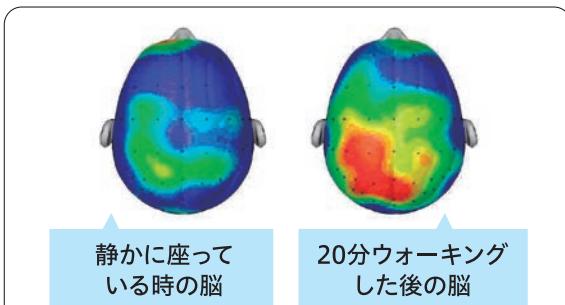
運動することによって脳の働きが活発になり、学力が身につきやすい状態に変わることが期待されています。

#### ストレス解消とメンタルコントロール

アメリカの調査で、身体を動かすことがストレス解消につながり、運動後には子どもたちに集中力や落ち着きが出たとの効果が報告されています。

#### コミュニケーション能力と協調性

互いに声を変え合ったり、チームで協力したり、触れ合ったりするプログラムで、楽しみながらコミュニケーションの向上が図れます。



※イリノイ大学チャールズ・ヒルマン博士による調査結果より

#### 運動後の脳は活発に機能する



#### ジョン・J・レイティ博士

医学博士、ハーバード大学  
医学部臨床精神医学准教授

カナダアルバータ州、アメリカユタ州のウェルネス・アドバイザーを務めるなど、スポーツ関連の活動も精力的に取り組んでいる。

## ○スポーツイベント等への助成・協力活動

スポーツ振興やスポーツを通じた人材育成、地域活性などを目的とする活動に、助成や協力をしています。一部資金や物品提供のほか、講師派遣やコンテンツ提供、企業や団体のマッチングなど、主催者のニーズに応えてよりイベントが豊かになる方法を一緒に考えています。

## 2015年実績

- 南相馬市教育研究会 教育講演会 (2015.01.16)
- いわきグローバルアカデミー「いわき志塾」 (2015.01.24)
- 中野区立中野中学校 総合的な学習の時間 (2015.02.03)
- 子供達に笑顔を!プロジェクト (2015.02.09, 10.05)
- Walk in Her Shoes 2015 (2015.03.08-05.31)
- MINI EURO 2015 (2015.05.10-19)
- 「メッセージ форум・愛知」中西哲生サッカー教室 (2015.07.25)
- のりさん SOCCER SUMMER CAMP (2015.08.10-13)
- Smile&Dream Cup 2015 (2015.10.11-12, 10.17-18)
- 第4回ちびっこ大運動会 (2015.10.24)
- 第5回東北小学生女子野球交流大会 (2015.11.14-15)
- みやぎジュニアトップアスリートアカデミー (2015.01-12)



USFの活動はホームページで随時発信しています

[www.unitedsportsfoundation.org](http://www.unitedsportsfoundation.org)

カレンダー機能で活動情報を検索できます

USF Sports Campの概要を動画で紹介しています

facebookと連動して情報発信しています

アスリートのインタビューを掲載しています

企業インタビューや対談記事を掲載しています



## ○関係者の声



元ラグビー日本代表  
**川合 レオ**  
(アスリート指導者)

しています。私もラグビーを指導しながら、子ども達の将来の可能性を広げる意味で、仲間と協力することの大しさ、チャレンジすることの大しさを伝えています。中には仲間と協力する方法を知らない子に出会うこともありますが、心を込めて問題点と改善策を指摘すると、子ども達は変化してくれます。また、ラグビーという新しい種目へのチャレンジに尻込みする子には、うまくできるかどうかは気にせず、チャレンジする気持ちが大事であることを伝えます。この先の人生でもチャレンジを避けると、本当に自分にあった生き方や、大事な人との出会いを逃す可能性があるからです。子ども達の変化から、スポーツには子ども達の成長をサポートする力があることを再確認しています。



アディダスジャパン  
株式会社  
**平野 直樹**  
(賛同企業)

“子供に夢を～Dream for KIDS～”プロジェクトに関わってきて、特に印象に残ったのが、被災した小学校で実施したイベントです。きっかけは、あるサッカー選手より、震災でサッカーの楽しみを奪われた子供たちを慰問したいという希望でした。まだ壊れたままの校舎と体育館の間にある小さな校庭での実施でしたが、現役選手の生のシュートやパスを受けた子供達は、改めてサッカーの楽しさ、スポーツの楽しさを思い出すことができたと皆嬉しそうでした。また、その後もずっとスポーツを続けている事を報告したいと、数年後に学校に呼んで頂き、選手には感謝のビデオレター、我々主催側にはお礼の報告会まで実施して頂きました。このプロジェクトは、スポーツを通じて人と人のつながり、夢を持ち続けることの大切さを伝えます。USFには今後も一緒に全国の子供たちに夢を与え続け、その成長に貢献できる事を期待します。



流通経済大学大学院  
スポーツ健康科学研究科  
**河田 萌**  
(ボランティア)

ティ、寝食を共にすることで最後は満面の笑顔で帰っていく様子は短期間での大きな成長が伺えます。プロスポーツ選手から技術はもちろん、スポーツマンシップの精神や道徳性・協調性を学ぶ場面もあります。見本とする「カッコいいプロ選手」が言っていたことは自然と身につくのでしょう。最初はふざけていた子が整列の声掛けをしたり、“勝ち”にこだわりながらもきちんとゲームのルールを守るようになります。友だちと大好きなスポーツや英語を通じてかけがえのいない絆が生まれます。そのような瞬間に立ち会え、子どもたちの成長に少しでも携われることは私にとっても素晴らしい時間となりました。今後もより多くの子どもたちがこのような機会に出会えることを願っています。



USF Sports Camp  
in 東京 2015 Spring 参加  
**坪川 優平**  
(プログラム体験者)

勝負をかけて真剣に行うスポーツ、楽しむスポーツ、その他にもスポーツには色々な意味があると思いますが、今回参加したキャンプのように、色々な種目を楽しみながらしかもその世界で極めた人に教えてもらなながら、スポーツが出来る機会を僕は楽しみにしていました。僕はカレンダーで色のついている所は全て野球をして過ごしています。厳しい練習をしてたくさん優勝もしましたが、準優勝もありました。準優勝もすごい事だけど、やはり勝負は勝たなければ意味がなく、準優勝は負けです。野球というスポーツから、勝つ事の素晴らしさ、負ける事で知る悔しさ等、心技体が鍛えられました。でも僕は野球だけでなく色々なスポーツに興味があるので、初めて会う人と心を一つに頑張ったり、すぐ友達にもなれたり、いつもとは違うスポーツをする事で野球とは違う体の部分を使ったりと、とても勉強になり楽しいキャンプでした。

## ○事務局トピックス

日頃の活動のほか、志をともにするプロジェクトへの参加や広報・講演活動をおこなっています。

### USF感謝の会

設立から3年が経ち、これまでのUSFのあゆみと活動報告を兼ね、ご賛同アスリート、ご協賛各社、関係諸団体の皆さんに心よりの感謝をお伝えすべく「USF感謝の会」を催しました。これまでの活動をVTRでご覧いただいたほか、アスリートのトークセッションにより、USFの活動に参加しての感想や期待などをお伝えいただきました。多くの方々にご参加いただき、ご意見、激励の言葉をいただきました。

2015.01.20



### 福島こども未来塾

子どもたちの学びと育ちを幅広い分野で支援し、将来の福島を担う人材を育成する「福島こども力プロジェクト」。その一環となる1年間を通じ9つのテーマに挑戦しながら「こども力」を高める「福島こども未来塾」に参加し、USF Sports Campを福島で実施しました。

2015.11.21-23



### 「世界の笑顔のために」プログラム

開発途上国で必要とされている、スポーツ、文化、教育、福祉などの関連物品をJICAを通じて世界各地へ届けるプログラムに参加し、タンザニア・ウガンダに野球用品を提供しました。

2015.08.17, 10.03



▲タンザニアお礼状



▲ウガンダお礼状

### USF presents 頑張れ東北！チャリティーセミナー

兵庫県立大学経営学部教授 川上昌直先生が2011年より継続されている「頑張れ東北！チャリティーセミナー」。第11回となる東京開催に協力いたしました。

2015.07.10

※参加費の一部をご寄付いただきました。



### 福島大学 「資本市場論」講義

将来の日本経済を担う学生に活きた経済や実践的な知識を提供することを目的に、野村グループが全国の大学で実施する「金融教育講座」の外部講師を代表理事の諸橋が務めました。

2015.06.30





## 財団基本データ Organization Data

### 基本情報 Profile

正式名称 一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION  
通称 USF(ユーエスエフ)  
代表者 代表理事 諸橋寛子  
所在地 東京都千代田区神田錦町3-20  
設立日 2011年9月20日  
メッセージ One World. One Team.

Name General Incorporated Foundation  
UNITED SPORTS FOUNDATION  
Abbreviation USF  
Representative Board Chairperson Hiroko Morohashi  
Location 3-20,Kandanishikicho,Chiyodaku,Tokyo  
Date of Establishment September 20,2011  
Message One World. One Team.

### 問い合わせ

TEL:03-6854-0001 FAX:03-5282-7653  
MAIL:info@unitedsportsfoundation.org  
URL:www.unitedsportsfoundation.org

### Contact

TEL:03-6854-0001 FAX:03-5282-7653  
MAIL:info@unitedsportsfoundation.org  
URL:www.unitedsportsfoundation.org

### 役員 Board Members

代表理事 諸橋 寛子  
Board Chairperson Hiroko Morohashi

スペシャルオリンピックス日本・福島 副会長/一般財団法人脳神経疾患研究所 理事/  
Vice Chairperson, Special Olympics Nippon, Fukushima/Director, Cranial Nerve Disease Research Institute  
NPO法人ザ・ファースト・ティー・オブ・ジャパン理事  
Director, The first tee of Japan.

理事 田尻 邦夫  
Director Kuniyo Tajiri

NPO法人新社会人養成塾 BOOSTER 代表/アジアリーグアイスホッケー チェアマン  
President, NPO BOOSTER/Chairman, Asia League Ice Hockey

理事 村田 真一  
Director Shinichi Murata

関東学院大学非常勤講師/米国NLP協会公認NLPトレーナー  
Adjunct Instructor, Kanto Gakuin University/NLP Trainer

評議員 中野 泰三郎  
Councillor Taizaburo Nakano

株式会社タイアップ 代表取締役社長/株式会社エフ・ヴィ・コーポレーション 顧問  
CEO, tieup Co., Ltd./Adviser, FV Corporation Co., Ltd.

評議員 ジンジャー・グリッグス  
Councillor Ginger Griggs

ASC Leader 社長  
President, ASC Leader

評議員 種子田 穂  
Councillor Joe Taneda

立命館大学スポーツ健康科学部 教授  
Professor of Sports Business and Management Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University

評議員 石綿 学  
Councillor Gaku Ishiwata

森・濱田松本法律事務所/弁護士  
Attorney at law, Mori Hamada & Matsumoto

監事 小谷野 幹雄  
Inspector Mikio Koyano

小谷野公認会計士事務所所長/公認会計士・税理士  
Certified Public Accountant/Representative, Koyano Certified Public Accounting Office

## ご支援・ご協力のお願い

USFは、皆さまのご寄付や企業のサポートによって支えられている 非営利組織です。

スポーツを通して地域の活性化、健全な心身育成、文化の醸成、発展に寄与すべく、さまざまな活動をしてまいります。パートナーとなっていただける皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

### 寄付によるご支援

HP(<http://www.unitedsportsfoundation.org/>)より、寄付申込用紙をダウンロードいただき、必要事項を記入のうえ、指定の銀行口座へお振込みをお願いいたします。

### 募金箱の設置

お店やイベント会場、会社などにUSFの募金箱を設置してくださる方を募集しています。

### 物品のご提供

スポーツを頑張る子どもたちへのプレゼントや、各種イベントでのスポーツ用品の提供なども募集しています。

### ボランティアへの参加

USFのスポーツイベントと一緒に盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集しています。

## 賛同企業・アスリートご紹介

### 賛同企業 Supporters



## 賛同アスリート

Athlete Endorsers



荒川 静香  
(フィギュアスケート)  
Shizuka Arakawa (Figure Skating)



有森 裕子  
(マラソン)  
Yuko Arimori (Marathon)



池田 信太郎  
(バドミントン)  
Shintaro Ikeda (Badminton)



伊藤 竜馬  
(テニス)  
Tatsuma Ito (Tennis)



岩崎 恵子  
(水泳)  
Kyoko Iwasaki (Swimming)



エディ・ジョーンズ  
(ラグビー)  
Eddie Jones (Rugby)



大神 雄子  
(バスケットボール)  
Yuko Oga (Basketball)



大儀見 優季  
(サッカー)  
Yuki Ogimi (Soccer)



大山 加奈  
(バレーボール)  
Kana Oyama (Volleyball)



小椋 久美子  
(バドミントン)  
Kumiko Ogura (Badminton)



加藤 陽一  
(バレーボール)  
Yoichi Kato (Volleyball)



鈴木 明子  
(フィギュアスケート)  
Akiko Suzuki (Figure Skating)



高橋 大輔  
(フィギュアスケート)  
Daisuke Takahashi (Figure Skating)



立花 美哉  
(シンクロナイズドスイミング)  
Miya Tachibana (Synchronized Swimming)



田臥 勇太  
(バスケットボール)  
Yuta Tabuse (Basketball)



トム・バイヤー  
(サッカー)  
Tom Byer (Soccer)



中西 哲生  
(サッカー)  
Tetsuo Nakanishi (Soccer)



平瀬 智行  
(サッカー)  
Tomoyuki Hirase (Soccer)



吉原 知子  
(バレーボール)  
Tomoko Yoshihara (Volleyball)

2015年12月31日現在・敬称略、五十音順 (As of December 31, 2015/ Listed in Japanese alphabetical order with honorifics omitted)



[www.unitedsportsfoundation.org](http://www.unitedsportsfoundation.org)